

人と情報の力で より健康な世界を実現



IQVIA (アイキューヴィア):

予測性を高めてアウトカムを向上

バイオ製薬分野の臨床試験サービスを提供するIQVIA(NYSE:IQV)は、約100か国で2万8,000人の社員が働いています。同社は、これまで市場で売上が高い医薬品上位50品目すべての開発と商品化を支援してきました。医療、医薬品に関する専門性と分析力を活用して、複雑化する医療問題の解決を支援しています。特に、臨床試験の計画とモニタリング、治験参加患者の募集、規制機関への資料提出に力を入れており、同社の提供する機能がなければ、医薬品や医療の飛躍的進歩は実現しないと言っても過言ではありません。

新薬の開発には膨大なリソースと長年にわたる調査が必要になります。しかし、市場への製品リリースを迅速に行うことで、製薬会社は早期にそれらの投資から収益を上げることができるようになります。医薬品の臨床開発期間を短縮し、それらの成功率を迅速に分析できるテクノロジーは、企業の収益に大きな影響をもたらします。このように同社は、有望な臨床試験の特許承認を加速することで、優れた品質と効率性を支えているのです。

情報の潜在能力を引き出す

IQVIAは、データの断片化と遅延が生じる状況に数多く直面します。データは多くの場合、複数のシステムに配置され、そのデータを利用するには事前にさまざまな手作業による操作が必要です。なぜならば、互換性のないレガシーシステムがデータの統合と標準化を妨げるため、すべてのソースを包括的に見ることが阻害されてしまうからです。また、ビジネスイベントのモニタリング/警告が自動で行われなため、是正措置をタイムリーに開始することができません。

同社はこうした課題に対応するため、医薬品開発プロセスを強化するエンドツーエンドの基礎技術スイートであるInfosarioを発表しました。Infosarioは、ビッグデータ技術の活用により、サイロ化を解消します。また、数千万もの患者記録と人口データを、臨床開発中に収集される膨大な量の運用データと組み合わせることができます。これらのデータを研究者や医薬品開発者に提供することで、意思決定を早め、最終的には製品ライフサイクルのあらゆる段階で成功率を改善することができます。IQVIA最高情報責任者であるリチャード・トーマス(Richard Thomas)氏は、「医薬品開発プロセスは、質の高いデータを利用できるかどうかにかかっています。これにより、製品や治療への技術が進化する過程において、共同作業や情報を得た上での意思決定が可能になります」と述べています。



概要

- ・バイオ製薬分野の開発と商業的アウトソーシングのサービスを提供するIQVIAは、市場で売上の高い医薬品の上位50品目すべての開発と商品化を支援してきました。同社はインフォマティカの製品を存分に活用したInfosarioプラットフォームにより、臨床試験の実施機関、被験者、参加医師の適切な組み合わせに焦点を絞ることができます。

ビジネスニーズ

- ・臨床試験の計画、実行、品質、管理を最適化。試験中断のタイミングを迅速に見極め、各試験の完了までにかかる期間を大幅に短縮
- ・米食品医薬品局による規制監査に継続的に対応
- ・注目すべき治験事象をプロアクティブにモニタリングし、製薬会社に通知

課題

- ・データが複数のシステムにわたって断片化していたため、利用するには事前にさまざまな手作業による操作が必要だった
- ・互換性のないレガシーシステムがデータの統合と標準化を妨げ、すべてのソースを包括的に見る視点を阻害
- ・ビジネスイベントのモニタリング/警告が自動で行われず、是正措置をタイムリーに開始することができなかった

Infosarioは、医薬品のライフサイクルに関連するデータとプロセスを統合し、分析に向けたデータの収集/クレンジング/準備のためのデータエンジンが含まれています。データは臨床研究データや他ソースの情報と組み合わせられ、予測分析を実現します。この中核に位置するのがIQVIA Data Factoryであり、臨床および運用データを抽出して体系化するための、データ統合/データ品質ツールが含まれています。また、データの上には「モニタリング/警告レイヤー」が配置されているため、臨床試験に関連する問題や重要事象を、適切な関係者に警告として迅速に送ることができます。

インフォマティカの役割

Infosario Data FactoryおよびAnalyticsプラットフォームは、Oracle、インフォマティカ、およびTibcoによる選り抜きの基盤データベース技術、データ統合ツールセット、およびデータ視覚化ソフトウェアに基づいて構築されています。

インフォマティカが提供するIQVIAソリューションは、以下のとおりです。

- **Informatica Master Data Management (MDM)** – Infosarioに重要なコアを提供しています。真のマルチドメイン機能を備えたハブであり、企業の情報資産をアクティブに管理し、階層や関係性の統合ビューを提供します。MDMは、Infosario Data Factoryエコシステムの重要な中核コンポーネントです。

- **Informatica PowerCenter** – パフォーマンスと拡張性に優れたデータ統合基盤により、エンタープライズデータウェアハウスや重要な運用データストアをサポートします。

- **Informatica Data Services** – 複数の異種データソースのデータを組み合わせ、単一の仮想化ビューを提供します。Infosario Data Exchangeアーキテクチャは、Data Servicesを使用して、B2Bデータ交換フィードで必要となるすべての情報を迅速に提供します。

- **Informatica RulePoint** – 企業データの品質イベントのモニタリングと主要関係者への警告という重要なタスクを処理し、必要な対策を講じます。

インフォマティカが提供するデータ統合の専門知識は、マスターデータ管理、データ統合、およびデータ仮想化技術の選定プロセスにおいて説得力を高める要因となりました。IQVIAはインフォマティカについて、Infosarioビジョンの主な要件に対応する優れたデータ統合プロバイダーであると認めています。データガバナンスやデータマネジメントを支援する機能の他、製薬/ライフサイエンス領域において必要なデータ品質に関するモニタリングとアラート機能など、データマネージメントプラットフォームとしての包括性がインフォマティカを採用した決め手となりました。

ソリューション

- データ駆動型のプロセスとアーカイブ能力により、複数の異種ソースのデータを迅速に組み合わせ調整。Infosario Data Factoryリポジトリにまとめ、マスターデータ管理、レポート、および分析を促進
- 基盤となるエンタープライズデータウェアハウスに影響を与えることなく、データ連携/仮想化技術を生かして個別ソースからの情報をタイムリーに提供
- ビジネスチームによる調整/強化が可能な、リアルタイムでのルールベースのインテリジェントモニタリング/警告システムを実装

メリット

- データの精度、適時性、完全性を強化
- バイオ医薬品に関する業界トップの情報と洞察
- 情報を得た上で迅速に意思決定を行い、洞察に基づく対策を講じる能力を向上
- Infosarioの製品開発期間を迅速化



インフォマティカ・ジャパン株式会社

〒105-6226 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階
電話:03-6403-7600(代表) FAX:03-3433-1031 <http://www.informatica.com/jp/>

© Copyright Informatica LLC 2019. Informatica, Informaticaロゴ, CLAIRE, AXON, Informatica Cloud, Big Data Management, PowerCenterは、米国およびその他の国におけるInformatica LLCの商標または登録商標です。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。